

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズプラス王子公園第二		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 12日 ~ 2026年 1月 9日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 12月 12日 ~ 2025年 12月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を実施することができている。	契約時に重要事項説明書や契約書を用いて、紙面と口頭にて確認をしながら説明を行っている。変更等が生じた際にはお便りの配布だけではなく、口頭でも説明することを意識している。	報酬改定や物価高騰等により運営規程やおやつ提供、昼食サービス等に関して変更が生じた際には、全職員が経緯や内容を把握し、説明ができるよう研修をしていく。
2	個別支援計画の内容や面談・子育てに関する項目に関して、保護者から良い評価をいただくことができている。	保護者のニーズや児童の特性に応じて個別支援計画を作成し、職員間で相談や共有を行うことで共通認識を持って統一した支援を提供することができている。	学校、地域の児童発達支援センターや他事業所、相談事業所などと連携をはかることで、スマートキッズや自教室だけでなく他機関と情報共有を行いながら、よりよい支援の提供に努めていく。
3	「祝日も通所したい!」とても満足しています」と満足度に関する項目で保護者から良い評価をいただくことができている。	児童の興味や特性に応じて、楽しみながら参加できる活動プログラムを立案することができている。活動プログラムは毎月異なるテーマで5領域に応じて設定し、全職員で分担することで固定化されないよう工夫をしている。	祝日や長期休暇には課外活動や午前午後に分けて取り組める療育等を立案し、児童の興味や可能性をより広げられるよう工夫をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	契約時に各種マニュアルや非常時等の対応についてより丁寧に説明・周知すること。	非常時の対応について職員間で研修や訓練を実施していたり、集団療育の中で避難訓練を行っていたりするが、災害による避難場所の違い等より具体的な対応については保護者への周知が少なかった。	新しくご利用いただくご家庭が安心して通所できるよう、教室設備や非常時の対応をまとめた説明資料の作成、更新を行う。今後は定期的に内容を見直し、説明の質の向上と統一を図っていく。
2	教室環境では広さなど変えることが難しい部分もあるが、スペースを区切ったり安全面で対策を講じることで児童が過ごしやすい環境設定に努めていくこと。	発達支援室内で気持ちの切り替えなどが必要な際の一人になれるスペースを作っていない。	クールダウンスペースが確保できていないため、段ボールを使用する等して個別のスペースを設けられるようにしたい。
3	活動概要や業務に関する自己評価の結果等についてHPやブログにて発信をしている旨の周知。	定期的にブログにて療育内容の様子を発信することはできていたが、更新の有無を周知できていなかった為、保護者の方に見ていただく機会が少なかった。	利用表などのお便り配布時にはQRコードを記載し、ブログの周知を行い、保護者にブログやHPを確認していただくように案内していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スマートキッズプラス王子公園第二					公表日	2026年 3月 18日	
			利用児童数	23名			回収数	19名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	3	1	1	・子供の成長を考えると手狭に感じるときもある ・他事業所との比較が無いので分からない ・実際の活動内容と人数が確かでないで、十分な広さかもしませんが、他の放デイと比較して、少し狭いかなと感じました。	法令上、必要な発達支援室内の広さは満たしている。 活動内容に応じてスペースを区切る等、過ごしやすい教室環境となるよう工夫をしていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18		1		・丁度いい人数だと思います	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	2	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1		1	・トイレの見学をするのを忘れました。	見学時にトイレの案内も実施していくようにする。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	18	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19				・面談などで保護者と支援内容の確認などができています。 ・柔軟に対応してくださっています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1			・外で身体を動かしたり自然の中でいろいろな物を見て聞いて肌で感じるプログラム等があればよいと思います。 ・子供が楽しみにしています	平日は下校時間やお送り時間の関係もあり難しいが、祝日や長期休暇時には課外活動の企画を行い実施している。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	9	4	・学校で交流しているので、デイサービスでは必要ないと思います。 ・なくてもあまり問題には感じません	事業所の特性上、地域の他の子どもと行動をする機会を設けることは難しいが、地域の作品展への出展等を通して交流を図っていきたい。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	1	3		家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会を設けられるよう発信をしていく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	19					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1			・毎日の送り迎えでも連絡等きちんとあります	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18				・子供に寄り添ってもらえています	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	9	3	5		保護者会は3月に開催予定の為、保護者評価実施期間には周知できていなかった。日程や開催について早めに周知することでより多くの方に参加していただけるようにしていく。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	3		2		HP上のブログにて、活動の様子を定期的に発信することができたが、更新の有無をお知らせできていなかった。お便りにURLを貼る等して周知を行っていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			2		契約書類や記録等は鍵付き書庫に保管する等して個人情報の扱いは十分留意していることを説明していくようにする。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18		1		「いかのおすし」や避難訓練も定期的に行われているようです	各種マニュアルが策定されていることを周知・説明する機会を設けていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17			3		安全計画に関してお便りでの周知となったため、契約時や年度毎の策定時に口頭でも説明を実施していくようにする。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1		4	・病院への診察時に備えて怪我等の状況説明は明確にお願いしたい。加入している保険も該当か否だったかの回答連絡欲しい。	任意保険に関しては毎年新年度にご案内をして、控えをお渡ししている。事故等が発生した際の対応について、契約時だけでなく状況に応じて説明を実施していく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	1			・楽しみにしていて祝日も通所したがるほどです	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				・とても満足しています。きめ細やかに対応していただいています	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	スマートキッズプラス王子公園第二				公表日	2026年 3月 18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	発達支援室内をスペースで区切り、学習や自由時間、活動等の状況に応じた環境設定の工夫をしている。	クールダウンスペースが確保できていないため、段ボールを使用する等して個別のスペースを設けられるようにしたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		児童発達支援管理責任者と基準人員に加えて心理担当職員や児童指導員加配職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	コーナーガードを使用したり階段の昇降時には職員が付き添ったりと児童が安全に過ごせるよう配慮を行っている。	建物の構造上、階段があったり柱が多くあったりと変えることが難しい部分はあるが、安全に過ごしていただけるよう危険箇所を予測して、引き続き対応を実施していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		日々清掃を行い清潔に過ごせるように配慮している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		定期的上司との面談もあるため業務について目標設定と振り返りが行っていると感じる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ミーティングでは職員全員が参加し、教室をよりよく運営するために意見や情報交換を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		第三者からの外部評価があった際には、評価結果を業務改善に繋げられるよう努めている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		階層別研修や虐待防止研修に全職員が参加し、資質の向上を図っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		質問票や面談を通してアセスメントを適切に行い、保護者のニーズや児童の特性に応じた支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		策定会議を通して職員間で個別支援計画の共有を行い、計画に沿った支援を実施している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		支援計画には子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容が記載されている。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		月毎にテーマを決めて、職員全員で分担を行い、活動プログラムを検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		半年間は同様の療育活動とならないよう工夫して立案をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別課題と集団療育を組み合わせ、支援を提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		業務前ミーティングを実施し、送迎や個別課題・おやつを担当職員の確認、集団療育の流れ等を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		ミーティングの改まった場を支援終了後に設けることはできていないが、都度気になったことや保護者からの連絡事項を共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援当日に療育記録を記載し、振り返りを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		集団療育の内容に応じて児童が種目を投票にて決める機会を設ける等、日々の支援の中でも自己選択できるような活動内容を工夫している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		サービス担当者会議や関係機関との会議には、事前に職員間で情報共有を行った上で、その子どもの状況をよく理解した者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		保育所等訪問支援や医療連携等を通して連携して支援を行う体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1			小学生の児童が多く実施できていなかったが、今後中高生の児童も増えてくる為、卒業後の移行に関して連携した支援を実施できるよう情報提供を行っているようにする。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2		事業所の特性や児童への配慮（学年が上がるにつれて他児に通っていることを知られたくない等）から他のこどもと活動する機会は設けられていないが、地域の作品展への出展等を通して交流を図っていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3			地域の協議会や子ども部会には代表者が参加している。内容を職員間にも共有できるようにしていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や連絡帳でのやりとり等を通して日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		面談や家族支援は実施できているが、家族等も参加できる研修の機会や情報提供は行っていない面もある為、次年度以降に実施できるように検討をしていく。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		見学時や契約時に重要事項説明書を用いて運営規程・支援プログラム、利用者負担等について説明を実施している。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	1	より多くの保護者に参加していただけるよう3月の休日に保護者会の機会を設けている。	保護者会を3月に実施予定の為ガイドライン実施時には開催できていなかった。保護者会に向けての日程調整や内容の検討を早めに職員間でも周知できるようにしていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに契約時に相談窓口について説明を実施している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月ニュースレターを発行している。ブログを定期的に更新して日々の活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報が記載されたものに関しては、鍵付き書庫での保管を行っている。また、個人情報が少しでも記載ある書類を破棄する際には必ずシュレッダーで行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		事業所の特性上、地域住民を招待すること等は難しいが、自立支援協議会や子ども部会への参加、地域の作品展への出展等を通して、地域に開かれた事業運営を実施していくようにする。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		毎月避難訓練を集団療育の中で実施している。水害や地震不審者対応など様々な訓練を行うことができている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		毎年基本情報確認シートを更新していただき、確認を行っている。また、変更があった際には都度お知らせいただき対応方法などを保護者の方と確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アレルギー表など職員が見えやすい場所に貼り、確認できるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事故や危険に繋がる事例があった際には、ヒヤリハット報告書を作成し教室全体で共有を行い再発防止に努めている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				